

1 施工上の注意 (必ずお守りいただきたいこと)

- 本製品は屋内専用(浴室は不可)です。玄関や屋外では使用しないでください。
- 電動ドライバーは使用しないでください。強く締めすぎると、ネジ穴の破損および座ベースなどを傷つけるおそれがあります。また、締め付け不足の場合、ガタツキ、部品の外れなどによりケガや作動不良をおこすおそれがあります。手動ドライバーでしっかり止めてください。
- ハンドル施工後に取り付けた養生シートは工事終了まで外さないでください。



注意

電動ドライバーは使用しないでください。

2 部材・部品表 (施工前に必ず部品を確認してください)

空錠		間仕切錠・表示錠				簡易シリンダー錠				
ハンドル本体	ハンドル座	ハンドル本体	ハンドル座	錠本体	錠固定ネジ	ハンドル本体	ハンドル座	錠本体	錠固定ネジ	キー(3本)
※養生シート同梱		※養生シート同梱				※養生シート同梱				

3 施工方法

※イラストは全て右用で記載しております。

ハンドルの取付

1

ハンドルについている解除ブッシュで、ハンドルを外してください。

※扉の吊元を確認ください。(工場出荷時は、「右吊元」です。)
「左吊元」の場合、ケース錠のフロント板を外し、ラッチ先端部を反転させてください。(裏面参照)

2

ハンドル座を加工穴に差し込み方向に注意して差し込み、しっかり勘合させてください。

注意 差し込み方向が逆になっていると、ハンドル本体が最後まで差し込めません。

※逆に差し込んだ場合、マイナスドライバー等で座を外し、正しい方向で再度差し込んでください。(裏面参照)

3

手順1 角芯棒のついたハンドル本体をケース錠の角芯穴に差し込み、しっかり押し込んでください。**手順2** 反対側のハンドル本体を角芯棒に差し込み、角芯棒側のハンドルをしっかり押さえ込みながら、押し込んでください。

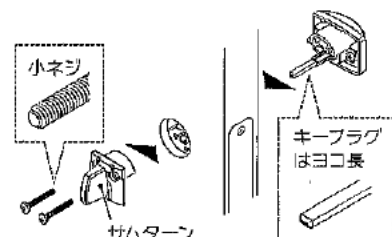
※ハンドル取り付け後、同梱の養生シートを取り付けてください。

3 施工方法

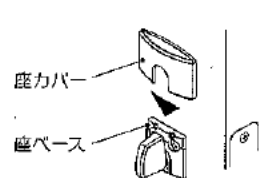
※イラストは全て右用で記載しております。

錠の取付[間仕切・表示錠・簡易シリンダー錠の場合]

1 (キーを抜き、)サムターンはタテ、キーブラグはヨコ長にして座ベースを小ネジ2本で取り付けます。

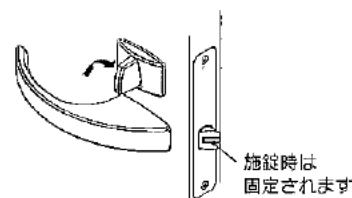


2 室内側の座ベースに、座カバーをはめこみます。



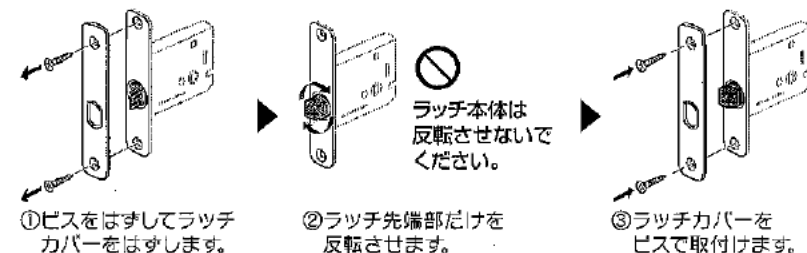
3 サムターンが正常に作動することを確認します。

【サムターン】 タテ向き: 解錠状態
ヨコ向き: 施錠状態



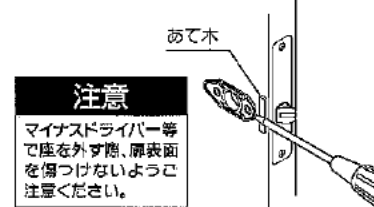
扉吊元の変更について

扉の吊元をご確認ください。(工場出荷時は、「右吊元」です。 「左吊元」の場合、ケース錠のフロント板を外し、ラッチ先端部を反転させてください。



ハンドル座の外し方について

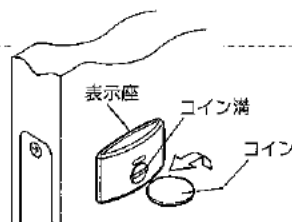
逆に差し込んだ場合、マイナスドライバー等で座を外し、正しい方向で再度差し込んでください。



取扱い説明書

非常解除方法

表示座のコイン溝にコインを差込み扉の戸先方向に回転させます。



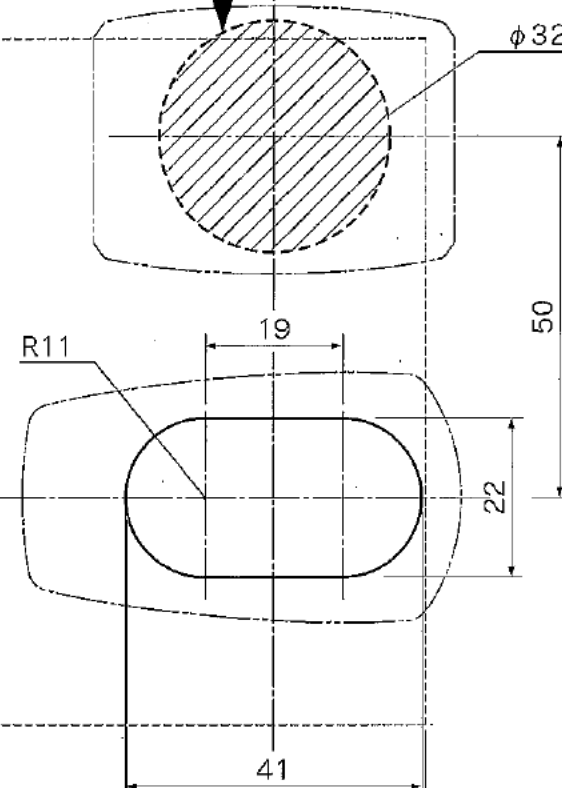
表面のお手入れについて

- 表面にキズを付けたりしないように注意してください。
- 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いてください。
- 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取ってください。



■正面図(1/1)

現場で間仕切錠・表示錠・簡易シリンダー錠に変更される場合、φ32mmの貫通穴を開けてください。



バックセット51mm

ほりこみ深さ72mm

施工説明書



錠は出荷時「右吊元」です。「左吊元」の場合は、フロント板を外しラッチボルトを反転させてください。



固定用のネジを締め付ける際は、必ず手回しドライバーをご使用ください。トルクの強い電動ドライバーを使用した場合、部品が破損するおそれがあります。



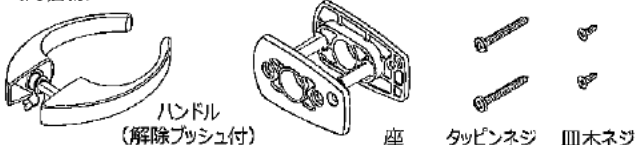
「注意すること」を示します。



「してはいけないこと」を示します。

空錠の場合

<同梱物>



1 座の取付け



2 ハンドルの取付け



3 完成



間仕切・表示錠の場合

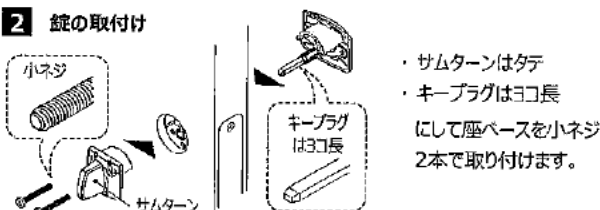
<同梱物>



1 座・ハンドルの取付け

ハンドル部の取り付けは空錠と同じです。

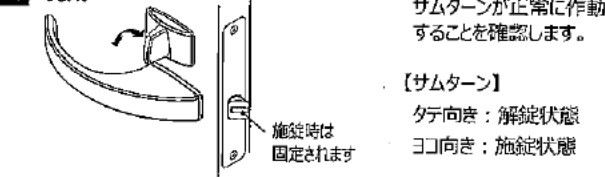
2 錠の取付け



3 錠カバーの取付け



4 完成



簡易シリンダー錠の場合

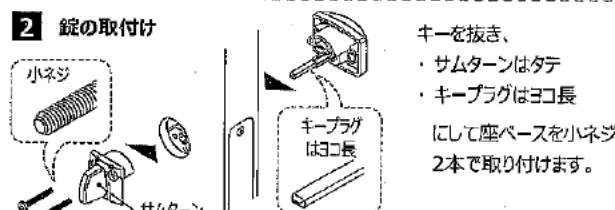
<同梱物>



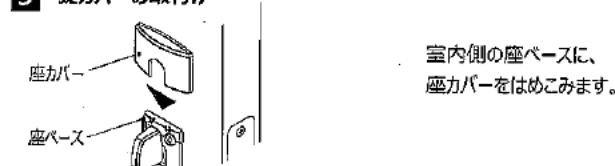
1 座・ハンドルの取付け

ハンドル部の取り付けは空錠と同じです。

2 錠の取付け



3 錠カバーの取付け



4 完成



「施工業者様へお願い」

弊社では、お施主様が製品を安全に正しく使用いただくためのお願い事項や、お手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱説明書」を添付しております。必ず、お施主様に手渡ししていただけますよう、お願い致します。

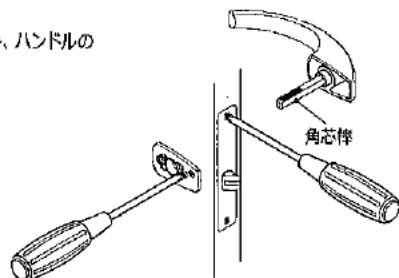
(弊社ホームページ <http://www.daiken.jp/>よりダウンロードも可能です)

施工説明書

ハンドルの作動が鈍い時の調整方法

※ ハンドル取り付け後、ハンドルの動きが良くないときは、座と箱錠を固定しているネジを少しずつ緩めて調整します。

1. 解除プッシュを使いハンドルを取り外します。
2. 箱錠フロントプレートのネジ2本と、座のタッピンネジ2本、皿木ネジ2本を少しずつ緩めて調整します。
3. 角芯棒のついたハンドルを差し込み、ハンドルの動きを確認します。
4. 空錠の場合 2.以降の手順でハンドルを固定します。



取扱い説明書

表面のお手入れについて

1. 表面にキズを付けたりしないように注意してください。
2. 表面が汚れた場合は、柔らかい布で軽く拭いてください。
3. 特に落ちにくい汚れが表面に付着したら、柔らかい布に中性洗剤を含ませて拭き取り、水を含ませた柔らかい布で中性洗剤を完全に拭き取ってから、乾いた布で水分を拭き取ってください。

